

# 令和3年度 第3回東京都障害者ピアサポート研修カリキュラム検討委員会 ＜議事要旨＞

## 1 会議概要

- (1) 開催日時 令和3年11月18日（木曜日）14時00分から16時00分まで
- (2) 開催方法 オンライン開催

## 2 議事内容

下記の基礎研修に係る検討事項について、事務局より資料4に基づいて説明し、意見交換を実施

### (1) 研修全体について

#### 【主な意見】

《スケジュールについて》

- ・基礎研修終了後、あまり時間を空けずに、専門研修・フォローアップ研修に向けて検討委員会委員で振り返りのための意見交換する時間を確保することが必要ではないか。

### (2) 研修受講者向けのグループワークでのルールについて

#### 【主な意見】

《タイトルの工夫》

- ・いきなりルールを示されると、受講者としては縛られる感じもする。「みんなで安心して研修に参加するために」などといったタイトルがあると、安心して参加することができるのではないか。

### (3) 研修実施に当たってのファシリテーターへの事前の配慮について

#### 【主な意見】

《ファシリテーターへの事前説明について》

- ・1グループにつき、当事者と専門職によるダブルファシリを想定しているのであれば、それぞれの役割分担について、事前の説明を丁寧に行うことが大切。また、ピアサポーターと専門職の協働が研修のねらいの一つとなっていることから、ダブルファシリである当事者と専門職が協働してグループをファシリテートする様子を受講者に見ていただくことも、この研修では大切。そのため、協働の意義についても、事前にファシリテーターにお伝えできると良い。

### (4) 演習項目別ファシリテーター用持ち資料の検討について

#### 【主な意見】

《演習①「ピアサポートの理解」について》

- ・この演習は、自身のストレングス（強み）について自己紹介を交えて各受講者に話してもらおう。ここでこのストレングス（強み）とは、必ずしもピアサポーターの経験から培った強みに限定されるものではない。たとえば「人の話を聞くことが好き」など、誰かと一緒に過ごすことに関連する自分の個人的なことも、ピアサポートに通ずる強みとして話をしてもらえたらいいと思う。

《演習②「ピアサポートの実際・実例」について》

- ・講義で様々なピアサポートの実際・実例を聞いた感想を共有し、励ましや気づきを得られる時間を設けられると良い。

《演習④「障害福祉サービスの基礎と実際」について》

- ・回答例には、精神障害領域分野のピアサポート活動だけでなく、他の障害領域（身体障害領域分野など）の事例も示せると良いではないか。

《演習⑤「ピアサポートの専門性」について》

- ・必ずしもファシリテーターだけが受講者からの全ての疑問に回答していく必要はないと思う。他の受講者に意見や感想を求めることも大切。
- ・2日間の基礎研修が全て終了した段階で、不安全感が残らぬよう受講者同士で受講後の感想を共有できる時間を取れると良い。